

株主各位

第 45 期定時株主総会へのご出席御礼

2025 年 6 月 27 日に開催いたしました「第 45 期定時株主総会」、また、株主総会終了後に開催された「経営近況報告会」には約 50 名の株主様のご出席を賜り、誠にありがとうございました。

第 45 期定時株主総会では、報告事項に関する質疑応答が行われ、決議事項においては滞りなく審議し、全議案が承認可決されました。

経営近況報告会では、各担当取締役より、中期経営計画 2025 に沿ったご説明を差し上げ、ご出席の株主様から多くのご意見・ご質問をいただきましたので、その主な内容をご報告いたします。

〈第 45 期定時株主総会〉

報告事項に関する質疑応答

[問] 招集通知 15 ページの取締役の報酬の注に、吹野取締役役に 1,400 万元の業績連動報酬が支払われたことが記載されているが、これは日本円に換算すると 2 億 8 千万円に該当する。多過ぎはしないか？また、株価は最高値から 80%下落し、ワラントが失敗している中で、誰一人として責任を負っていない。業績連動報酬というのであれば、45 期は報酬を減らすべきなのではないか？

[答] 吹野総経理には、アルセラの業績連動報酬として、記載の通りアルセラより支払いをしています。目標値は予め設定しており、計画値を大幅に達成したことにより取締役会で決議の上、支払っています。アルセラの業績は右肩上がりで成長しており、第 44 期に 100 億円という売上を達成した業績連動報酬としては、多すぎる金額ではないと考えています。また、45 期は前年と比べて下がっていますが、前年は太陽光発電関連の特需の要素が強く、前年を除けば 45 期も業績は拡大しており、責任を取らなければならないという認識はありません。ワラントは失敗ではなく、中国も頑張り、国内も少しずつ良くなっており、必要がないと判断して中止をしたものです。

〈経営近況報告会〉

中期経営計画 2025 のご説明に先立ち、社長の高橋よりご挨拶 [要旨]

当社は来年 45 周年を迎えますが、私で 6 人目の社長となります。

カセットテープの規格から始め、途中、新規事業を立ち上げるため様々な取り組みを行い、中国子会社と共に立ち上げた断熱材事業は大きく育ちました。2019 年からはナノマテリアル事業に取り組み、新規事業だったため見えない部分があり、中期経営計画にも増減

が生じていましたが、ようやく足固めができ、地に足をつけて事業に取り組む土台ができたと考えています。中期経営計画 2025 についても、高い確度で達成できると考えています。

質疑応答

〔問〕 中計を見ると、企業価値の向上や株価を意識した経営とあるが、御社の思っている株主との距離感はどうなのか？電話してもメールにしてくださいと言われる。IR に電話するのは株主かこれから株主になる方だと思うので、株主の事を考えて欲しい。また、アナリスト向けの説明会とあるが、今までやっていなかったのか？

〔答〕 昨年の経営近況報告会でのご回答と重複しますが、メールでのお問い合わせをお願いしているのは、「回答者がインサイダー情報を出していないことを保証し、言った言わないの問題が起こらないようにするため」「メールでお問い合わせいただき、回答の順番をお待ちいただいている株主様との公平性を保つため」この2点が主な理由です。昨年、同様のご要望をいただき、IR 担当者の人数を増やし課題に対応できる体制を整えて行きたいということでお時間をいただいておりますが、現時点で実現していないことにつきましてはお詫び申し上げます。すぐに対応することはできませんが、今後も引き続き検討いたします。

アナリスト向けの説明会は以前行っていましたが、新規事業を開始してから、表に出せない情報が多かったため中断しています。ナノマテリアルや断熱材と説明できるものが整ってきたため、今回再開を検討しています。

〔問〕 先ほど中期経営計画の説明を聞いたが、専門用語は分からない。分からないものでモヤモヤしたくないので、見て触れることができるようにしてほしい。また、普通の人分かるようにしてください。

〔答〕 本日、ロビーで当社製品の展示をしております。是非、展示品をご覧になってください。

〔問〕 アルメディオはどういう意味なのか？

〔答〕 アルメディオ (ALMEDIO) は「The Media」をスペイン語にしたものです。

〔問〕 事業所や工場は、何をやっているのか？

〔答〕 東村山事業所はカーボンナノファイバーの研究開発を行っており、自然災害等で

福島双葉工場に何かあった時に対応できるような設備もあります。国立は本社機能がメインで、福島双葉工場はカーボンナノファイバーの生産拠点となる工場です。

[問] 中国のウェイトが高く、リスクが高いと思うが、政治的な対応を含めリスクをどう考えているのか？

[答] 中国子会社の販売先は80～90%が中国国内となっていますが、中国の経済状況を見極め、影響を最小限とするよう取り組んでいます。高橋・吹野が中国語に堪能であるため言葉の壁が無く、政治的な問題は大きくないと考えています。また、今後は、ナノマテリアル事業やCMC、新規商材の販売が拡大することで、中国以外の売上比率を高めていきます。

[問] 研究開発費の推移を教えてください。

[答] 45期は1億2千9百万円で、各年度で大きな変化はなく1億～2億円程度で推移している認識です。

[問] 新任の取締役の方に、どのように貢献したいのかお聞きしたい。

[答] 招集ご通知に記載されているスキルマトリックスにありますように、IT・デジタル分野を補い、今後の発展にIT分野の知見や経験を生かしていけると考えています。

[問] 中計では毎回ナノマテリアルの成長スピードアップとしていますが、計画が後ろ倒しになっています。どうしてなのでしょう。また、今期の計画は大丈夫なのでしょうか？

[答] 評価に時間が掛かっており、計画が後ろ倒しになっていましたが、今期は数社採用がある見込みで、計画は精査した数値と努力目標を入れたものですので、達成できると考えています。

[問] アルメディオは防衛関連銘柄でしょうか。それなら四季報に書いてもらえないのか。そうすれば株主は増え、大口が買ってくれるのではないかと思います。

[答] CNFは防衛も絡んでいますが評価の段階、CMCはこれから評価となっており、実際に採用されていないので、どうやって出していくか考えていきます。IRについては、防衛に入っていくにつれ、中身は言えなくなります。

[問] 防衛関連銘柄でないなら、それはどのような産業で、どんな製品なのか？

[答] これまでのご説明以上のことは申し上げられません。得意先様の中には画期的な新製品の開発に当社の CNF を採用することを検討してくださっている会社様もありますので、当社から情報が漏れるなど、あつてはならないことだと認識しています。とは申しましても、株主様に発信できないことについては大変心苦しく思っており、ナノマテリアルの担当取締役を先頭に、営業の社員達も、わずかな情報開示でもさせていただけるよう得意先様にお願いをしているところです。株主の皆様は何らかのお知らせをしたいと考えています。

[問] ナノマテリアルの営業ですが、人材の確保に苦戦していると思いますが、例えば一部をアウトソーシングするなど、何か対策を考えているのでしょうか？また、営業は仕様の擦り合わせや社内の調整に時間が掛かっているのではないのでしょうか。

[答] 営業の人材も採用しており、ナノマテリアルに精通した顧問もお願いしています。大手のキーパーソンにたどり着くことは非常に難しいのですが、やみくもに数を当たっていくのではなく、顧問の方には、横展開の先や、その先のキーパーソンを紹介していただいています。営業は一人ずつ担当を持っており、必要な情報は直ぐに共有しています。また、東村山事業所は営業と技術が同じところにおり、一緒に改良や提案を行っていますので社内調整に時間がかかっているということはありません。

[問] ナノマテリアルで最終ユーザーでの評価や、採用が進んでいるなど、色々な表現をされていますが、分かりやすく可視化してください。

[答] 今期 3～4 件の採用を見込んでいます。数百件の中での 3～4 件でパーセンテージとしては少ないですが、確実に取っていきたいと考えています。

[問] ワラントの資金の使いみちと残高はいくらあるのか。

[答] 第 9 回および第 10 回の新株予約権については、使用期限が終了した段階で、使途の開示を行うことが義務づけられていますので、現段階で細かい数値についてのご説明はご容赦頂きたいのですが、調達した資金は第 9 回、第 10 回の合計で 17 億 3 千 8 百万円です。子会社の設備投資資金として約 6 億 6 千万円使用しており、その他に 3 名の人材投資資金等に使用しております。また、M&A 資金は日本 NER 株式会社の譲受に使用しておりますが、譲受金額は先方から許可が出ていないため開示を控えさせていただいております。

直近で使用予定があるものを除きますと、概算で約8億円の資金が残っています。

[問] 中計と実績の乖離が大きく、本当に大丈夫なのか。それに人も減っている。今年もダメなら終わりだと思う。会社の体制を作り直してください。

[答] 1つでも採用されれば達成できると考えています。今期の計画は地に足の着いた、大手の会社からのフォーキャストに基づいており、信頼して頂ければと思います。

[問] 福島双葉工場の稼働は、100%フル稼働としたら現在は何%なのか。またフル稼働はいつになるのか。

[答] 造るものにもよりますのでパーセンテージでお答えするのは難しいのですが、まだフル稼働にはなっていません。現在は通常勤務ですが、お客様の見込みで三交代しなければならない数量の要望もあり、受注できればそのようなことも考えられます。

[問] CNF と SiO をマッチさせて新型電池を作る会社で、サンプル出荷している会社はありますか。

[答] 新型電池というのが何を指しているのかわかりませんが、CNF と SiO の両方を使う会社もあります。また、資源・材料の Si を使う会社もあります。CNF と SiO 又は Si の両方を入れるとなりますと確約できませんが、どちらか1つずつであれば大変有望であると認識しています。

主な質疑応答は以上でございます。

様々なご質問・ご意見をいただき、ありがとうございました。

今後も、株主総会および経営近況報告会を株主様と経営陣の対話の場と位置付け、オープンに運営をしてまいります。

いただきましたご意見等は真摯に受け止め、株主の皆様のご期待に添えるよう努めて参ります。役職員一同、社業の発展に邁進する所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月30日
株式会社アルメディオ
代表取締役社長
高橋 靖